

リサイクル援助事業報告書

平成 17 年度

グアテマラ共和国 大統領府大統領夫人社会事業庁(SOSEP)



平成 18 年 12 月

社団法人 日本外交協会

1. 本事業の趣旨

日本において、救急自動車・消防自動車・塵芥収集車・福祉用車両といった特殊自動車は、自治体・団体の管理下で所有・利用され、一定期間の後に廃棄される。ただし、処分直前までは予備車として、各消防本部や各自治体・団体にて整備された状態で保管されているのが通常である。日本国内で使用し続けることが困難になった中古車両でも、使用中の保管・整備が徹底されているため状態は良く、このような車両が不足している開発途上国からは、ぜひ使用したいという要請が多い。

社団法人日本外交協会では、各自治体やその消防本部、団体に対して要請条件に合うものを譲渡していただけるよう、協力を依頼している。譲渡を受けた車両は、引き取り、整備・修理、輸送の手配等を日本外交協会の責任において行い、要請のあった途上国に送り届けることになる。その際には、外務省と協議しながら、政府開発援助（ODA）の中の「リサイクル草の根無償資金協力」を利用し、その後5年間程度は使用してもらえるような状態で現地へ搬送している。

2. 要請団体

グアテマラ共和国 大統領府大統領夫人社会事業庁(SOSEP)

3. 供出団体（以下、順不同）

シルバーハウス希望の園、大井川厚生会永福壮

4. 譲与車両

◆ シルバーハウス希望の園

リフト付マイクロバス 1台 三菱 BE437F21179 (1993年製)

マイクロバス 1台 三菱 BE437F-11196 (1991年製)

◆ 大井川厚生会永福壮

リフト付バン 1台 ニッサン CRGE24070780 (1993年製)

5. 実施の経緯

<要請の背景>

グアテマラでは、大統領夫人が社会福祉活動を推進するために、大統領府の中に「大統領夫人社会事業庁(SOSEP)」という機関があり、特に女性や社会的弱者のために活発な活動を行なっている。今回は SOSEP を窓口として、身体的障害のある方を支援している団体で、移動用の車両を必要としていることがわかった。2005年はグアテマラにおける「国家障害者年」に当たり、日本大使館もこのよう

な要請に応えるべく、日本からの中古車輻を寄贈することになった。

3台の車輻は、SOSEP 障害者支援プログラム、マルガリータ・テハーダ財団、サン・ファン・ラ・ラグーナ市マヤ・シャキヤクァシイワン・センター協会という3つの団体に引き渡され、障害者の方たちの自立支援活動の中で利用される。

<輸送と整備について>

車輻は日本の国内で整備した上で輸出している。内部の装備点検、必要な部品の交換、外装塗り直しに加え、車輻の前面、及び側面には、日本の援助として送ったことを示す援助マークや、交差して並ぶグアテマラと日本の国旗を貼付した。

<セレモニーについて>

2005年11月11日にグアテマラ・シティの憲法広場にて、SOSEP 代表のウェンディ・W・ベルシェ大統領夫人、マルガリータ・テハーダ財団代表、サン・ファン・ラ・ラグーナ市マヤ・シャキヤクァシイワン・センター協会代表及び各々の関係者、日本大使館からは四之宮平佑・駐グアテマラ共和国特命全権大使及び担当者等、100名近くが出席するなか盛大に引渡式が開催された。

6. 要請から実施までの流れ

平成16年	10月28日	在グアテマラ大使館を通じて中古マイクロバス・福祉用車輻供与の申請がある旨の連絡が当協会に入る。
	11月～	車輻の選定・調整、輸送費見積り調査、資金の申請手続き等
平成17年	3月16日	大統領府大統領夫人社会事業庁、日本大使館と「草の根無償資金協力」供与契約署名。
	4月18日	大統領府大統領夫人社会事業庁と日本外交協会の間で、車輻譲渡に関する合意文書交換。
	7月21日	横浜港より出港
	8月11日～	グアテマラ到着 ～ 通関手続き、車輻引取
	11月11日	車輻引渡式

— 別添資料 —

- ・ 【地図】グアテマラ共和国
- ・ グアテマラ共和国 基本情報
- ・ 受領書（写し）／和訳
- ・ 写真：引渡しセレモニー当日の様子
- ・ 新聞報道記事

—資料【地図】—
 グアテマラ共和国



グアテマラ共和国基本情報

(出典：外務省 HP)

面積	108,889km ²
人口	1,263 万人 (2004 年世銀)
首都	グアテマラ・シティ
人種	先住民 52%、混血 45%、欧州系 2%、その他 1%
言語	スペイン語
宗教	カトリック
政体	立憲共和制
主要産業	農業 (コーヒー、バナナ、砂糖、カルダモン)、繊維産業
GDP	32,161 百万ドル(05 年中銀)
一人当たり GDP	2,532 米ドル(05 年中銀)
経済成長率	2.2% (02 年)、2.1% (03 年)、2.7% (04 年)、3.2% (05 年) (中銀)
対外公的債務	37.23 億ドル (05 年中銀)
我が国の援助実績 (単位 億円)	(1)有償資金協力 (04 年度まで、EN ベース) 194.79 (2)無償資金協力 (04 年度まで、EN ベース) 337.78 (3)技術協力実績 (04 年度まで、年度経費ベース) 214.41
主要援助国(04 年) (百万ドル)	(1)米(53.5) (2)日本(25.4) (3)独(23.3)

Wendy W. de Berger
Esposa del Presidente de la República

Guatemala, 17 de noviembre de 2005

OFICIO AG-1497-2005/WDB/mám

Señor Yasuhiro Ikeura
Gerente de Promoción para la
Diplomática Japonesa
Embajada de Japón
Ciudad, Guatemala

Estimado señor Ikeura:

Deseo por este medio agradecerle en nombre de las Obras Sociales que me honro en presidir, por la donación de tres vehículos Micro-Buses marca Mitsubishi y Nissan respectivamente, los cuales serán de gran beneficio para el transporte de niños discapacitados pertenecientes a la Fundación Margarita Tejada, Asociación del Centro Maya Xek'yaqasiirwaan de San Juan La Laguna y para el Programa de Gestión para Personas con Discapacidad -PROGEDIS-, los cuales fueron entregados a estas instituciones, el pasado 11 de noviembre del presente año en la Plaza de la Constitución, por el Excelentísimo Señor Embajador de Japón, señor Heisuke Shinomiya..

Reiterándole este agradecimiento, aprovecho la oportunidad para suscribirme de usted con las muestras de mi consideración y estima,

Wendy W. de Berger
Wendy W. de Berger
Esposa del Presidente de la República



2005年11月17日

(社) 日本外交協会
専務理事 池浦 泰宏 様

拝啓、池浦様。

私が勤めております大統領府大統領夫人社会事業庁 (SOSEP) の名におきまして、この書簡にて感謝の意をお伝え申し上げます。障害を持つ子供達に多くの裨益を与えられる、三菱及び日産社のマイクロ・バス3台は、本年11月11日、憲法広場において、四之宮平佑大使により、マルガリータ・テハーダ財団、サン・ファン・ラ・ラグーナ市マヤ・シャキヤクァシイワン・センター協会、及び SOSEP 障害者支援プログラムに引渡しされました。

本書簡にて再度、貴殿に私の感謝の意を繰返しお伝え申し上げます。

ウェンディ・W・ベルシエ
グアテマラ共和国大統領夫人

引渡式写真

本プロジェクトでは、日本からの中古マイクロバス・福祉用車両計 3 台を、グアテマラ大統領府大統領夫人社会事業庁(SOSEP)へお贈りしました。各車両は日本の社会福祉法人から無償で提供いただき、その整備・輸送にかかる費用は、日本政府の「草の根無償資金協力」(政府開発援助の一つ)の支援を受け、日本の人々の善意に支えられた国際協力となっています。

在グアテマラ日本国大使館を通じて、平成 17 年度に資金が供与され、8 月に現地へ機材が到着した後、11 月 11 日に現地にて引渡式が行われました。

<p>1 寄贈車両全 3 台</p> <p>手前から</p> <ul style="list-style-type: none">・リフト付バン・マイクロバス・リフト付 マイクロバス	
<p>2 寄贈式典の様様</p>	

<p>3 四之宮平佑・駐グアテマラ日本国特命全権大使によるスピーチ</p> <p>右は手話通訳者</p>	
<p>4 SOSEP 代表のウェンディ・W・ベルシェ大統領夫人と四之宮大使</p> <p>四之宮大使から SOSEP へ、寄贈車両が引渡されました。</p>	
<p>5 車輦見学をする皆さん</p>	

<p>6 福祉施設の方達との撮影</p>	
<p>7 メディア取材を受ける四之宮大使</p>	

2005年11月12日付「アレンサ・リブレ紙、5項」

Entrega vehículos



Foto Prensa Libre: ADOLFO MEJÍA

Heisuke Shinomiya, embajador de Japón, entregó ayer tres microbuses, con un costo de US\$43 mil, a la esposa del presidente, Wendy de Berger, para que diferentes instituciones transporten a niños y adultos con discapacidad.

Donativo

Japón donó vehículos para programas de integración

El embajador del Japón, Heisuke Shinomiya, entregó 3 vehículos a la señora Wendy de Berger para el traslado de niños, adolescentes, adultos y personas con síndrome de down. 4



Donativo japonés para discapacitados

Vehículos servirán a instituciones benéficas.

La primera dama, Wendy de Berger, recibió del embajador de Japón, Heisuke Shinomiya, tres vehículos tipo panel destinados a tres instituciones de beneficencia.

Con este aporte queremos dejar testimonio de solidaridad, declaró el Embajador. Dijo que ante una solicitud de la Secretaría de Obras Sociales de la Esposa del Presidente (SOSEP), promovió ante instituciones japonesas la colabora-

ción necesaria y finalmente obtuvo el apoyo de la Asociación de Diplomacia del Japón.

Gracias a ello, los vehículos, usados pero convenientemente reparados, y cuyo valor total asciende a Q330,647, fueron entregados a la señora De Berger, quien a su vez puso las respectivas llaves en manos de representantes de las instituciones destinatarias: Fundación Margarita Tejada; Centro Maya para Niños con Discapacidad, y Comisión Coordinadora del Año Nacional de las Personas con Discapacidad, de SOSEP. AJC



FOTO: ALBERTO GALIANO

El embajador de Japón, Heisuke Shinomiya, entregó a la señora Wendy de Berger las llaves de tres vehículos destinados a movilizar a personas con discapacidad. Les acompaña Nadja Sarti, de la Secretaría de Obras Sociales de la Esposa del Presidente (SOSEP).